



# 静岡 陸協 会報

第 34 号 (2023年 8 月 25 日発行)  
一般財団法人  
静岡陸上競技協会

〒420-0032  
静岡市葵区両替町2-3-6 (2F)  
TEL・FAX 054-253-9801

## 静岡陸上競技協会 新理事長就任 川口雅司



### 理事長就任のご挨拶

六月より一般財団法人静岡陸上競技協会の理事長に就任いたしました川口雅司です。歴代の理事長を中心に積み上げてきた実績に敬意を表すと共に、今までのご努力に心より感謝申し上げます。これからは新年度のスタッフと力を合わせて、静岡の陸上界にとってベストな選択ができるよう努力したいと思えます。宜しくお願い致します。

私が理事長としてやるべきことは、①静岡の陸上を強くすること。②陸上競技人口を増やすこと。③陸上の観客を増やすこと。④『陸上が好き』という人を増やすこと。だと考えています。(順番はありません)

しかし、四つの項目どれひとつ取っても簡単に達成できるものではありません。部活動の見直しや教員の働き方改革が進められる中で、小学生・中学生・高校生・大学生・社会人と、それぞれのカテゴリーで陸上競技ができる環境を整えることが今まで以上に求められます。

自身は三十年余の高校指導が中心です。他に、小・中合同クラブの指導を五年程してきました。しかし、全てのカテゴリーに精通している訳ではありません

ん。今後とも多くの審判員や指導者の方々とお付き合いをさせていただき、いろんなご意見を聞かせていただきたいと思っております。

新型コロナウイルスの感染拡大によって中止となった令和二年の静岡インターハイ、その開催に向けてご尽力いただいた方々には今でも感謝の気持ちで一杯です。

『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』井上靖のこの言葉は私の支えになっています。静岡の陸上界にとって良いと思うことはやってみる。立ち止まらずにやろうとしてみる。できない時はどうしてできないのか、その原因を追求する。例えば、人的理由でできないならば人材を育成する。できる人材がいるのに埋もれているのならば適正なポジションに配置をお願いする。

また『現状維持は衰退である』と多くの著名人が語っています。変える勇気、変えない冷静さ、そしてその両者を見極める能力がこれからは求められます。

皆さんのお力をお借りしながら、『スタンドが陸上ファンで一杯になるような』そんな『陸上競技の魅力を次の世代に繋げること』を目指して精一杯努めて参ります。ご協力をお願い致します。

### 静岡陸上競技協会 新役員決定

- は新任
- ▽会長 ○西島昭男 ▽副会長 ○神山心一、石野吟策、山口嘉一 ▽理事長
- 川口雅司 ▽副理事長 ○綾部信明、岩本穰兒、松井清和 ▽評議員 真下達雄、梶壽雄、西尾誠、小関武利、新聞一夫、村上馨、小田木嗣佳、冨佳久、加藤洋一
- ▽常任理事 小池一男、○小林一幸、○渡辺勝大、望月勇志、原田洋一郎、神谷晃尚、筒井計臣 ▽理事 木下佳彦、笠井高昭、森りさ、鈴木康弘、内野悦子、○石田祐子、佐藤和久、杉井将彦、影山富子、渡辺辰彦、堀之内大、○西島多香子、西井勝章、○山本綾香、星利光、森貴司
- ▽監事 ○大坪宏、○池谷直美、外波山雅章 ▽事務局長 ○小池一男 ▽総務委員長 小沢誠 ▽競技委員長 永田勝久 ▽審判委員長 井出幸夫 ▽強化委員長 高橋和裕 ▽普及委員長 倉嶋義人 ▽情報システム委員長 三枝宣男
- ▽施設委員長 ○小泉大八 ▽記録委員長 赤堀順一 ▽広報委員長 水谷陽介
- ▽スポーツ医科学委員長 斉藤史門
- ▽指導者養成委員長 ○西島信弘

# 静岡陸上競技協会 新会長就任 西島昭男



この六月より会長職を拝命いたしました西島です。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

静岡県には「ファルマバレープロジェクト」という医療健康産業の集積と振興を目指した取り組みがあります。県が中心となり医療機関や大学・企業とともに、二十年以上にわたって進めてきたプロジェクトです。

発足当初からファルマバレーの委員を仰せつかった私は、その過程で東京大学の小林寛道先生という方にお会いしました。先生が開発した「認知動作型卜レーニングマシン」は、高齢者の脳の

活性化や体力向上、スポーツ選手のパフォーマンス向上に寄与する大変優れたものでした。当時、県知事を務めていた石川様から「先生の研究成果をファルマバレーに取り入れたい」と私に協力依頼があったことから、ファルマバレーのベンチャー企業第一号として、先生のマシンの販売やトレーニングジムを運営する会社を立ち上げました。平成一六年のことです。

ほどなくして、私の会社の一階に「健身塾」という名で、マシンのショールーム兼トレーニングジムを開設しました。当時は夕方になると仕事終わりの会社員や中高生の生徒さん達がトレーニングしており、その中には陸上部に在籍する子たちもいて、皆さん競技力のアップを目指して頑張っていました。このことが、私が陸上とのご縁をいただいた最初のきっかけとなっております。

後に「スポウエルアスリートクラブ」というNPOを立ち上げ、その中から全国大会や名古屋国際女子マラソンへの出場者も生まれるなど、陸上競技の素晴らしさや面白さを近くで感じさせてもらいました。

私自身は陸上競技の経験者ではございませんが、ファルマバレーを通して頂戴した陸上とのご縁を大切にしながら、これから会長として、選手の皆様をはじめ陸上に関わる方々のお役に少しでも立てますよう、精一杯頑張っております。

## 二〇二二年度 静岡陸上競技協会顕彰受賞者

### 1、特別功労表彰

- 北澤 晴樹
- 望月 紘一
- 新谷 誠規

### 2、永年勤続功労者表彰

- 大原 一夫

### 3、功労者表彰

- 綾部 信明 東部 駿東郡清水町
- 小池 一男 東部 沼津市
- 高山 登 中部 静岡市
- 鈴木 宣司 西部 袋井市
- 山口 丈男 西部 御前崎市

### 4、優秀選手賞

- 齋藤 みう 日本体育大
- 日本学生 3000mSC 10分14秒26
- 長葭 遥斗 浜松開誠館高校
- U20日本選手権 400m 46秒75
- カワベ ジサム 浜名高校
- 全国定通制 走高跳 1m78
- 浅井 惺流 東海大翔洋高校
- 国体 少年B110mJH 13秒96
- 秦 くるみ 伊豆中央高校
- U20日本選手権 走幅跳 6m25
- 小針 陽葉 富士市立高校
- 国体 少年B100m 11秒77
- U18競技会 100m 11秒65
- 西村 ほの夏 浜松市立高校
- 国体 少年B100mYH 13秒71
- 河上 由奈 伊豆長岡AC

### U16競技会ジャベリックスロー

50m 86

日本陸上競技連盟2022年度

中学生・高校生優秀選手章

(中学生) 小池 雛

(高校生) 澤田 結弥 (浜松積志中学校)

(高校生) 澤田 結弥 (浜松市立高等学校)

日本陸上競技連盟2022年度

中学・高校優秀指導者章

(中学生) 山城 百孝

(高校生) 洪川 努 (浜松三方原中学校)

(高校生) 洪川 努 (浜松工業学校)



# しずおか オレンジ旋風 蘇れ

(本年度県選手権者と優勝記録)

第78回県陸上競技選手権大会(兼特別国民体育大会選考会)が七月八〜九日にわたり男・女40種目、県総合草薙陸上競技場で開催された。昨年に引き続きメディア関係の取材も少なく寂しい限り。やはりスター選手がいないと世間の眼も厳しく敏感になる。今後の中・高校生選手の成長に期待したい。

## 100m選手権者

【男子】

- ▽100m 安藤翔和(御殿場西高) 10秒17 追い風参考
- ▽200m 島田開伸(早大) 21秒43
- ▽400m 渡辺楽久(BDP) 47秒40
- ▽800m 前川優月(SMILEY) 1分51秒83
- ▽1500m 前川優月(SMILEY) 3分52秒64
- ▽5000m 片岡晴哉(韭山高) 14分49秒89
- ▽1100m障害 宮本皓寿(浜松市立高) 14秒13 追い風参考
- ▽4000m障害 後藤竜志(日大) 52秒66
- ▽3000m障害 鈴木勇飛(静岡高) 9分32秒84
- ▽5000m競歩 伊藤佑樹(田子重) 21分32秒49
- ▽4000mリレー 田子重(杉本、横道、菅野、小島) 40秒15
- ▽1600mリレー 日大三島高(小松、増田、沢井、前田) 3分19秒89
- ▽走り高跳び 太田蒼翔(中京大) 2m09

- ▽棒高跳び 笹瀬弘樹(TOMORUN) 5m40
- ▽走り幅跳び 北川凱(東海大) 7m82 追い風参考
- ▽三段跳び 北川凱(東海大) 16m13 追い風参考
- ▽砲丸投げ 對木隆介(静岡陸協) 14m22
- ▽円盤投げ 中村一裕(駿河AC) 46m07
- ▽ハンマー投げ 齊藤漢生(流通経済大) 55m19
- ▽やり投げ 藤井瑞樹(田子重) 63m32
- ▽100m 岩井樹梨亜(環太平洋大) 11秒57 追い風参考
- ▽200m 鈴木莉依愛(浜松湖東高) 25秒88
- ▽400m 白井千晴(静岡雙葉高) 56秒14
- ▽800m 仲子綾乃(慶大) 2分9秒59
- ▽1500m 田島愛理(順大) 4分29秒93
- ▽5000m 佐野亜友美(TKナイン) 18分16秒24
- ▽1000m障害 篠原柚葉(富士市立高) 14秒15 追い風参考
- ▽4000m障害 菅本かおり(静岡市立高) 1分4秒56
- ▽3000m障害 中安若葉(中京学院大) 11分44秒13
- ▽5000m競歩 立見真央(田子重) 24分29秒88
- ▽4000mリレー 東海大翔洋高A(杉本、木村、菅井、中井) 47秒31
- ▽1600mリレー 東海大翔洋高A(菅井、渡辺、杉本、木下) 4分0秒04
- ▽走り高跳び 加藤那奈美(浜松聖星高)

- ▽棒高跳び 杉本彩(静岡陸協) 1m61 大会新
- ▽走り幅跳び 小林聖(SMILEY) 3m92 大会新
- ▽三段跳び 古川由季(田子重) 6m14 追い風参考

## 静岡国際で「金丸世代」と「静岡チーム」対決

静岡西高校出身で、五輪2大会に出場した経歴を持つ、高瀬慧(富士通)が、静岡国際1600メートルリレーに「静岡チーム」で出場した。400メートル日本選手権11連覇の金丸祐三ら1学年上の「金丸世代」と競り合い、大会のオーピングを大いに盛り上げた。

学生の頃から出場してきた静岡国際陸上大会を盛り上げようと企画。同学年で高校時代にライバルだった元トップ選手



- ▽砲丸投げ 秋山愛莉(福岡大) 14m33
- ▽円盤投げ 影山悠(順大) 42m49
- ▽ハンマー投げ 鈴木菜摘(浜松湖北高) 46m43
- ▽やり投げ 田端美羽(中京大) 46m06

を集めてチームを結成した。高瀬、金丸の2人は1走で「レジェンド」対決が実現。観客席から拍手が湧き起こった。静岡チームは3走のけがで途中棄権となったが、金丸世代チームはマスターズM35日本記録を樹立した。

レース後、高瀬は「前座として大会の雰囲気をつくる役目は果たせたと思う。走ることを楽しむのが大事だと、子どもたちに伝わったらうれしい」と語った。



# 静岡国際陸上2023



日本グランプリシリーズ第6戦、第38回静岡国際陸上競技大会が5月3日、エコパスタジアムで行われた。



男子200メートルでは、3連覇を狙った飯塚翔太（ミズノ、藤枝明誠高出）が20秒45で5位。レース後「今日はみんな速かった。モチベーションが上がった」と語った。前半の100mは上位でコーナーを抜けたが、後半の余力はなかった。「よくある失敗パターン。欲張った結果」と振り返った。

女子200mでは、富士市立高校の小針陽葉（2年）が素晴らしい走りを見せた。予選で23秒52と自己ベストを上回る走りを見せ、決勝に進出。決勝でも実力者が顔を揃える中4位に食い込んだ。まだまだ2年の伸び盛り、静岡県高校記録だけでなく、日本高校記録を視野に入れている。

女子走幅跳では秦澄美鈴（シバタ工業）が6m75の大会タイ記録で優勝した。豪快なジャンプを連発し、会場を沸かせた。2回目に6m68を跳んで、自己記録を1cm更新。その後は「追い風が安定していた」と絶好のコンディションに乗り、3回目で大ジャンプを見せた。

〔編集〕

静岡陸協広報委員会・静岡陸協事務局  
水谷陽介（編集・文責）  
橋本美智夫（編集委員）

（印刷・大日三協株）

